

20 松河戸の人口世帯

松河戸地区の範囲は、古くから変わりありませんでしたが、戦後の昭和 23 年に松新町が、昭和 53 年に小野町が、昭和 55 年に愛知、細木、町田町が分離しました。

分離以前との単純比較はできませんが、ここでは区画整理が開始された平成 4 年以降の推移をみてみることにします。

- ① 松河戸町の人口、世帯数の推移 ……………p488
- ② 松河戸町の丁目別 ……………p490
- ③ 年齢構成比較 ……………p491
- ④ 男女別比較 ……………p491



松河戸文化科学探求隊
隊長 長谷川 浩
080-3657-7052
松河戸町の沿革ホームページ
<http://matsukawado.com/>

① 松河戸の人口・世帯の推移

松河戸の人口と世帯
(松河戸地域(戦前の地域)での人口、世帯)

松河戸の人口・世帯は、寛文12年(1672)には、人口641人、世帯110戸で、文化10年(1813)では、792人、190戸と増えてはいますが、その後は変化せず明治の初めまで、松河戸の人口はほとんど変わっていませんでした。

年	人口	世帯
寛文12年(1672)	641	110
文化10年(1813)	792	190
明治2年(1869)	660	190
明治6年(1873)	658	186
昭和5年(1930)	537	107
昭和35年(1960)	3,932	910
昭和40年(1965)	5,040	1,157
昭和45年(1970)	5,289	1,351
昭和50年(1975)	5,832	1,666
昭和55年(1980)	5,734	1,847

明治の中頃から大正、昭和初期にかけ人口、戸数とも減少していきます。

これは地租改正で、自作農の中には地租を払えず土地を売って小作人になる人や、小作人の中には地主への小作料(米で納入)が上がったことで生活が苦しく、北海道、名古屋などに移住する人が多くあったからです。

その後も、農村恐慌、小作争議などが相次いでおり、この地域では大正7年頃の米騒動、昭和3年～昭和12年の延米の廃止をめぐっての小作争議など混乱もあり、他に移住する人があり、昭和5年には、537人、107戸まで減少しています。

しかし、戦前・戦中は鳥居松工廠ができたことや、戦中・戦後は疎開者などにより、人口の増加をみます。

戦後、春日井市が、「軍事工業都市」から「内陸工業都市」として歩み始める中で、鳥居松工廠跡地に昭和28年王子製紙の操業が始まると、地蔵川一体そして松河戸の南西部は工業系地区に指定されました

そして昭和34年に愛知電機工作所(現愛知電機株)工場が松河戸の南西部(現愛知町)に進出し、その後も昭和40年頃にかけて工場の立地が相次ぎ人口が急増し、集落の景観も大きく変わりました。

昭和23年に松河戸新田が「松新」として分離し、昭和53年に「小野」が、昭和55年に「町田」、「細木」、「愛知」が松河戸から分離しましたので、単純な比較はできません。

実は、人口の大きく増えた地域は、松河戸から分離した松新、小野であったり、町田、細木、愛知などで、区画整理が終わったそれらの地域へ村中から転出する人があり、昭和50年頃をピークに現在の松河戸地区の人口は減少していました。

区画整理が計画されると、松河戸地区の人口の減少が更に起こりますが、区画整理の工事は、平成4年4月着工、田畑が広がっていた北部から進められましたので、平成8年(1996年)の

1,289人、541戸を底に増加に転じ、平成9年(1997)から11年(1999)にかけ、年100人以上の増加という第1のピークを迎えました。

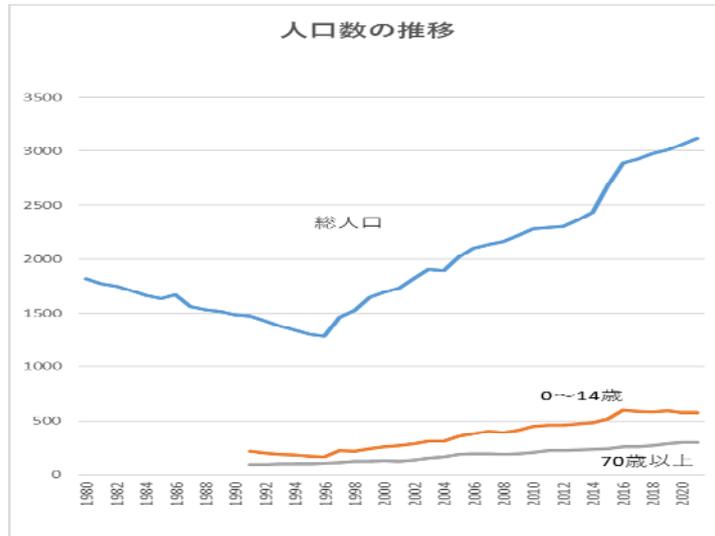
区画整理が最初に済んだ3丁目、1丁目、4丁目へ、南部の集落から順次移転するかたちとなり、また、そこには旧住民ばかりでなく、新しく外部からの転入者も増え、松河戸の人口は大きな増加を続けました。

その後も毎年50人程の増加数を示していましたが、特に、区画整理が完成に近づいた平成27年(2015)は、248人、平成28年(2016)は205人と大きな増加を示し、第2のピークを迎えます。

この時点で、新入居者が旧居住者を超したと思われます。

区画整理前(1992年)の人口は1432人、戸数は489戸でしたが、区画整理が完成した(2017年)の24年間に人口2925人と2.0倍に、戸数は1176戸と約2.4倍となりました。

区画整理完成以降も毎年40人から50人程の増加を続けています。



	西暦	元号	(人口動向調査)							世帯数
			総人口	男性	女性	0-14歳	15-69歳	70歳以上	内85歳以上	
	1980	昭和55	1,819	951	868					594
	1981	昭和56	1,777	914	863					568
	1982	昭和57	1,752	906	846					555
	1983	昭和58	1,713	981	832					523
	1984	昭和59	1,664	860	804					523
	1985	昭和60	1,638	851	787					530
	1986	昭和61	1,670	833	774					513
	1987	昭和62	1,565	809	756					495
	1988	昭和63	1,537	793	744					490
	1989	平成元	1,519	794	725					497
	1990	平成2	1,487	780	707					489
区画整理 始まる→	1991	平成3	1,479	789	690	219	1,160	100	(10)	505
	1992	平成4	1,432	755	677	201	1,130	101	(10)	489
	1993	平成5	1,388	734	654	190	1,094	104	(15)	459
	1994	平成6	1,343	712	631	185	1,055	103	(16)	460
	1995	平成7	1,302	683	619	171	1,025	106	(21)	451
	1996	平成8	1,289	673	616	168	1,011	110	(21)	451
	1997	平成9	1,464	764	700	227	1,121	116	(22)	518
	1998	平成10	1,528	807	721	220	1,180	128	(25)	574
	1999	平成11	1,650	864	786	242	1,278	130	(21)	632
	2000	平成12	1,693	876	817	257	1,304	132	(22)	646
	2001	平成13	1,736	893	843	273	1,333	130	(22)	654
	2002	平成14	1,826	925	901	289	1,396	141	(23)	697
	2003	平成15	1,909	967	942	312	1,441	156	(27)	730
	2004	平成16	1,898	959	939	314	1,415	169	(27)	730
	2005	平成17	2,023	1,013	1,010	357	1,477	189	(30)	772
	2006	平成18	2,101	1,061	1,040	380	1,524	197	(29)	815
	2007	平成19	2,136	1,089	1,047	404	1,534	198	(30)	823
	2008	平成20	2,167	1,121	1,046	389	1,585	193	(29)	851
	2009	平成21	2,226	1,172	1,054	413	1,615	198	(30)	866
	2010	平成22	2,283	1,204	1,079	447	1,626	210	(30)	868
	2011	平成23	2,294	1,212	1,082	458	1,612	224	(31)	879
	2012	平成24	2,303	1,222	1,081	460	1,626	225	(35)	893
	2013	平成25	2,362	1,240	1,122	470	1,662	230	(41)	914
	2014	平成26	2,437	1,274	1,163	482	1,717	238	(44)	951
	2015	平成27	2,685	1,411	1,274	521	1,922	242	(43)	1,080
区画 → 整理完成	2016	平成28	2,890	1,514	1,376	597	2,035	258	(52)	1,148
	2017	平成29	2,925	1,534	1,391	586	2,082	257	(54)	1,176
	2018	平成30	2,973	1,557	1,416	579	2,124	270	(57)	1,203
	2019	令和元	3,012	1,579	1,433	594	2,131	287	(67)	1,214
	2020	令和2	3,064	1,605	1,459	576	2,190	298	(74)	1,250
	2021	令和3	3,117	1,636	1,481	575	2,252	301	(76)	1,298

② 松河戸町の丁目別

松河戸は、区画整理により「6つの丁目」と「番外地」の7つの地域で成り立っています。

区画整理の工事は、田畑が広がっていた北部から進められ、3丁目、2丁目、そして4丁目、1丁目と進められたので、そこが完成すると、順次移転するかたちとなりました。

丁目別にみても、高齢化率の高いのは「1丁目」「丁目外」が12.9%、「4丁目」12.7%、「2丁目」12.1%、反対に低いのが、「6丁目」3.9%、「3丁目」5.6%となっています。

また、子ども率が高いのは「5丁目」27.3%、「6丁目」26.2%となっており、反対に低いのは「丁目外」7.1%、「2丁目」13.9%となっています。

これは、1丁目、2丁目、4丁目などは区画整理が比較的早く終わり、5丁目、6丁目辺りに住んでいた旧住民がここへ移ったのに対し、5丁目、6丁目は区画整理が最後になったため、外部からの若い世帯の移住が多く、子ども率も高くなっています。

ただ、3丁目は一番早く区画整理が終了したものの、旧住民にとっては、環状2号線の外で、町の中心から外れるため移住をためらった人も多くいたようです。

また、「丁目外」は、工業地で区画整理がされていない地域で人口数も少なく、このため高齢者率は高く、子ども率は極端に低くなっています。

2021年4月1日現在 %

丁目外	高齢化率	子ども率
丁目外	12.86	7.14
1丁目	12.90	16.73
2丁目	12.14	13.93
3丁目	5.640	17.23
4丁目	12.68	17.70
5丁目	6.88	27.25
6丁目	3.94	26.16
平均	9.66	18.45

は、平均より高い丁目

高齢は70歳以上とした。
子どもは14歳未満とした。

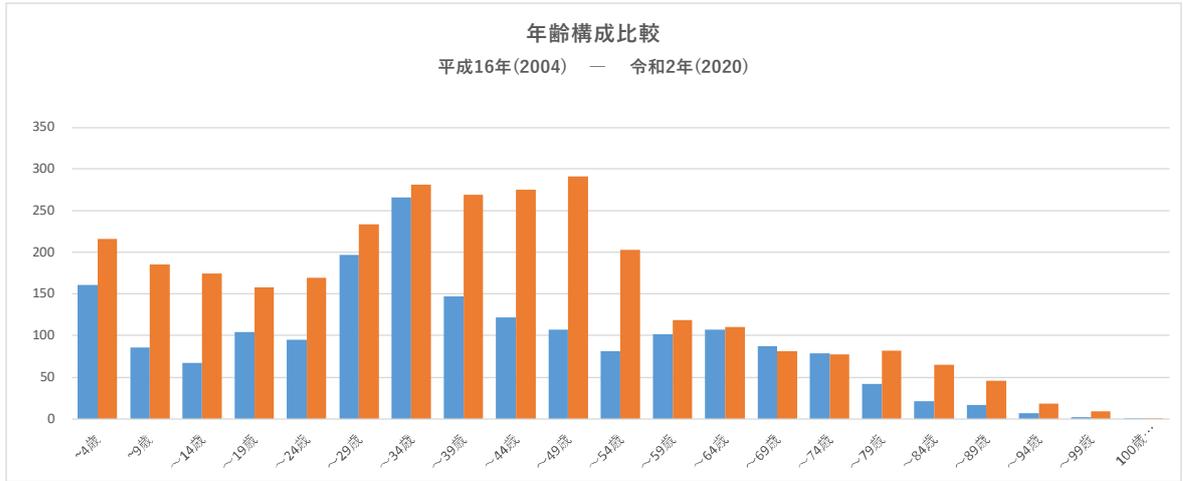
松河戸町の丁目別 人口、世帯数 (人口動向調査)									
調査年月日	丁目	総人口	男性	女性	0-14歳	15-69歳	70歳以上	内85歳以上	世帯数
2019年 4月1日	丁目外	75	48	27	9	55	11	(1)	47
	1丁目	481	247	234	97	317	67	(15)	176
	2丁目	515	274	241	83	373	59	(13)	215
	3丁目	639	335	304	114	491	34	(11)	263
	4丁目	659	343	316	107	474	78	(19)	272
	5丁目	391	201	190	115	250	26	(7)	140
	6丁目	252	131	121	69	171	12	(1)	101
	計	3,012	1,579	1,433	594	2,131	287	(67)	1,214
2020年 4月1日	丁目外	74	50	24	7	57	10	(1)	48
	1丁目	494	253	241	94	333	67	(15)	184
	2丁目	541	283	258	79	389	73	(17)	226
	3丁目	635	336	299	109	492	34	(11)	264
	4丁目	677	349	328	113	481	83	(19)	282
	5丁目	378	199	179	109	241	28	(9)	138
	6丁目	265	135	130	65	188	12	(2)	108
	計	3,064	1,605	1,459	576	2,181	307	(74)	1,250
2021年 4月1日	丁目外	70	49	21	5	56	9	(1)	48
	1丁目	496	258	238	83	349	64	(16)	190
	2丁目	560	288	272	78	414	68	(18)	247
	3丁目	656	350	306	113	506	37	(11)	279
	4丁目	678	354	324	120	472	86	(20)	285
	5丁目	378	196	182	103	249	26	(8)	137
	6丁目	279	141	138	73	206	11	(2)	112
	計	3,117	1,636	1,481	575	2,252	301	(76)	1,298



③ 年齢構成比較

(4月1日現在)

16年前と比較して



調査年4月		~4歳	~9歳	~14歳	~19歳	~24歳	~29歳	~34歳	~39歳	~44歳	~49歳	~54歳	~59歳	~64歳	~69歳	~74歳	~79歳	~84歳	~89歳	~94歳	~99歳	100歳以上
平成16年	2004年	161	86	67	104	95	197	266	147	122	107	81	102	107	87	79	42	21	17	7	2	1
令和2年	2020年	216	185	175	158	169	234	281	269	275	291	203	119	110	81	77	82	65	46	18	9	1

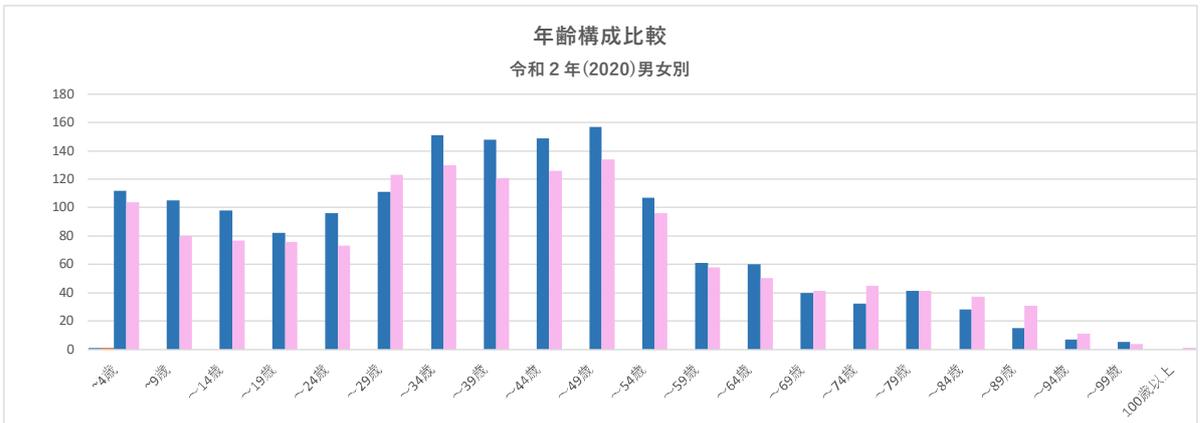
2004年頃は、区画整理も半ばを迎えるところで、村中の主要道路もでき、2丁目、4丁目辺りには新しい家が建ち始めた頃で、人口も増えており、2千人を超えようとしていました。

そのころと比べ、全年代で増加していますが、特に5歳~14歳、40歳~54歳、80歳~99歳では、2倍以上に増加しています。

これは、子どものいる世帯層が、新築住宅を購入して入居した人が多かったことが考えられます。高齢者についても、全国的な高齢化に伴うことに加え、高齢者の入居者も増えたと思われます。

④ 男女別比較

(4月1日現在)



調査年4月	男女別	~4歳	~9歳	~14歳	~19歳	~24歳	~29歳	~34歳	~39歳	~44歳	~49歳	~54歳	~59歳	~64歳	~69歳	~74歳	~79歳	~84歳	~89歳	~94歳	~99歳	100歳以上
令和2年 (2020年)	男	112	105	98	82	96	111	151	148	149	157	107	61	60	40	32	41	28	15	7	5	0
	女	104	80	77	76	73	123	130	121	126	134	96	58	50	41	45	41	37	31	11	4	1

全体では男性は女性より1割くらい多いのですが、65歳以上については女性が多くなっています。

○ 参考 小野小学校の児童数(松河戸地区) 令和2年度(4月1日)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
全生徒	154	170	158	158	145	154	939
(松河戸地区)	(35)	(36)	(32)	(33)	(39)	(33)	(208)

松河戸文化科学探求隊
隊長 長谷川 浩
080-3657-7052
松河戸町の沿革ホームページ
<http://matsukawado.com/>

松河戸の人口世帯メモ